市中総体（球技大会）間近！

もうずいぶん昔、平戸の中学校で相撲部の顧問（まわしもはめてました）をしていた頃、日本人の試合へ向かう〝構え〟や勝負に対する〝向き合い方〟について様々なことを学びました。

「三年先の稽古」　日々の努力の大切さ
「正々堂々」　勝負の心得
「敵に塩を送る」　戦国武将の戦いの美学
「我、木鶏たりえず」　双葉山が目指した境地

勝負の土俵となる「南島原市中学校総合体育大会」がもうすぐ開催されます。

古来、日本において「試合」は、鍛え抜いた体と技と心（自分）を試し合う場です。別の言い方をすれば、自分を高めてくれる学びの場です。そのような意義や価値があるから試合の前後に「お願いします。」「ありがとうございました。」と礼をします。中総体は、そのような**「高め合った」**という実感を味わってくれたらと心から願っています。

保護者の皆様、御声援、よろしくお願いします。

生徒総会で学ぶこと

過日、本校生徒会は総会を行いました。前年度決算の承認、本年度予算の審議、専門部活動等の方針や年間計画の承認など、内容は市議会や国会とほぼ同じです。よって学ぶことは「社会や行政（世の中）の仕組」です。彼ら（特に三年生）が私たち大人と同じように〝本物〟の選挙権を持つのは三年後（！）ですので、社会の形成者としての素養と判断力（または、為政者にあっては行動力）を育てたいと考えています。

今回の総会では二つに注目しました。

①予算をどう使うか。
②身なりの「きまり」をどう扱うか。

①については、行政や企業の経営者の方々の御苦労を少しでも学ぶことができたらと思っています。（そもそも「生徒会費」を誰が出資しているか知らない生徒もいましたので…。）

②は、**「自分のことは自分で考えて決める」**ということ大事にしたいと考えています。その点で「（髪の）２ブロックはダメ」で「前髪の長さは自分で決めたい」と決議した彼らの討議に深く感心しました。

さて、今度はボールを投げられた私たち（職員会議）が考える番です。読者の皆さんは、生徒の前髪はどうあるべきと考えられますか？

《コラム　港町ブルース》

「志」

「志」は、「夢」とか「憧れ」とかとはちょっと違います。

自分以外の誰かのために、まだ見ぬ未来のために、我が身を尽くそうとする発意が志です。

中学生が勉強し、体を鍛え、人と力を合わせてやり抜くことなど、学校で行うことのすべてが彼らが志を実現する力になります。

口之津中学校は「南島原市立」の学校ですので、（未来に不安がよぎる今は特に）彼らが抱く志に希望の光を見出したい今日この頃です。（ちょっと重荷かな…）

《　主な行事予定　》

〈６月〉
７日（火）市中総体激励会
１２日（日）市中総体球技・武道大会
　　～１３日（月）
１４日（火）振替休日
１６日（木）白浜海岸清掃
２１日（火）市中総体陸上競技大会
２４日（金）授業参観・学年育友会
　　高校合同説明会
　　（本校体育館で開催）
　　長崎っ子の心を見つめる教育週間
　　～３０日（木）
２９日（水）期末テスト　～３０日

〈７月〉
２０日（水）終業式
２３日（土）県中総体　～２５日（月）
２７日（水）三者面談（３年生）
　　保護者面談（１・２年生）
　　～８月２日（火）

《心に響いた言葉》　「将来のことについて、具体的に考えている。」
教育相談を終えて担任の先生が「いいなと感じたこと」として挙げられたものから。しっかりサポートしたいと思いました。

シリーズ「令和の日本型教育を行う口中へ」〈第一回〉

『個別最適な学び』と『協働的な学び』について

これからシリーズでお伝えする「令和の日本型教育」の中で、この二つはもっとも重要な語句です。

まず、**「個別最適な学び」**については、「指導の個別化」と「学習の個性化」があるとして、次のように示されています。

〈指導の個別化〉
教師が、子供一人一人の特性や学習進度等に応じて柔軟に授業を進める。

〈学習の個別化〉
子供自身が、自身の興味・関心・キャリア形成の方向性（実現したい夢など）等に応じて、課題を設定し、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの学習を進める。教師は、その機会を提供する。
（概要：文科省資料参考）

つまり、授業は「**一斉授業**（業界用語でいうところのチョーク&トーク）**だけじゃダメ**ですよということです。一方、「協働的な学び」は、次のように示されています。

〈協働的な学び〉
探求的な学習や体験活動を、他者と協働的に行いながら学びを深め、資質・能力を高めていく。（概要：文科省資料参考）

前段のことを取り立てて強調されているのは、次のような願いがあるためです。

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきており、しかもそうした変化が、どのような職業や人生を選択するかにかかわらず、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっている。社会の変化にいかに対処していくかという**受け身の観点に立つのであれば、難しい時代になる**と考えられるかもしれない。

だから、**変化を前向きに受け止め**、自身の生活（人生）を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない**新しい未来の姿を構想し実現したりしていって欲しい。**
（概要：文科省資料参考）

この実現のために

以上を踏まえ、本校では、端的に言うと次のようにしていきたいと考えています。

- **もっと生徒同士が自分の意見を交換し合う**（しゃべる）**授業にする。**
- **もっと生徒も教師もパソコンやインターネットを使うようにする。**
- **もっと生徒も教師も学校以外の人の話を聞いたり、伝えたりするようにする。**

この〝もと〟になるのが「キャリア・マネジメント」なのですが、今回は、紙面の都合でここまでにして、次回「生徒個々の力をそれぞれ十分に伸ばす授業への転換」へと続きます。

ふるさとの文化・歴史・人物 ―― 口之津中教育の視点から

「白浜海水浴場」

白浜海水浴場は、私の場合、高校の部活動でダッシュしたり肩車して端から端まで（夏は水着のお姉さんたちの横をすり抜けて）歩いたりした青春の地ですが、天下一品の観光地です。

白浜海水浴場は砂浜と松林、西に面した海岸のため、夕日や夕焼けが美しく、海水浴場とキャンプ場が隣接します。また、釣りスポットとしても有名で美味しい魚が沢山つれます。家族や、カップルで南島原の海を満喫しよう。（南島原ひまわり観光協会HPから）

地元にいると〝普通の海岸〟になっていることの多い砂浜ですが、江の島（都会の人が押し寄せて芋洗い状態になる有名なトコ）とは比べものにならない美しい場所（ある人の弁）なのです。

本校の生徒たちが再認識するのは、都会に出てからかなあ～。

【お知らせ】

市中総体の応援は、新型コロナ感染の予防のために人数制限があります。そのほか、感染や濃厚接触が確認された場合、タイミングによっては出場できなくなりますので、十分に御留意ください。ますようお願いします。

《今日は何の日》　6月9日…ドナルドダック誕生、6月10日…時の記念日、6月11日…入梅、6月16日…天気予報記念日、6月18日…ひめゆり部隊最後の日、6月23日…沖縄慰霊の日、6月24日…美空ひばり逝く、6月29日…ビートルズ来日